

安全データシート

SDS No. 80787

1. 化学品及び会社情報

| | |
|------------|---------------------------------|
| 化学品の名称: | スーパーエース FL |
| 供給者の会社名称: | 栗田工業株式会社 |
| 住所: | 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト |
| 担当部門: | 品質保証部 |
| 電話番号: | 03-6743-5020 |
| メールアドレス: | kwi_chemisds@kurita-water.com |
| 記載内容問合せ先: | 末尾記載の「問合せ先」にご連絡ください。 |
| 緊急連絡先: | 栗田工業(株) |
| 緊急連絡先電話番号: | 06-6228-4865 |
| 推奨用途: | 開放循環冷却水系用OSR型洗浄剤 |

2. 危険有害性の要約

| | |
|------------------|-----|
| 化学品のGHS分類 | |
| 健康に対する有害性 | |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分1 |
| 生殖毒性 | 区分2 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分1 |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 区分1 |

GHSラベル要素
絵表示注意喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害
長期又は反復暴露による臓器の障害

注意書き
安全対策

保護眼鏡、保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書を入力すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
このラベルの指示に従った特別処置が緊急に必要である。
眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合には外すこと。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露またはその懸念がある場合: 医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
確実に保管すること。紛失・盗難に気をつけること。
都道府県の認可を受けた廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

保管
廃棄

3. 組成及び成分情報

| | | | |
|--------------|-------|---------|--------|
| 化学物質・混合物の区別: | 混合物 | | |
| 化学名又は一般名 | 化学式 | | 含有量(%) |
| 有機窒素系銅用防食剤 | 非開示 | | 非開示 |
| アルカリ剤 | | | 0.1未満 |
| 過酸化水素 | H2O2 | | 1~6 |
| 重合りん酸塩 | 非開示 | | 非開示 |
| アクリル酸系ポリマー | 非開示 | | 非開示 |
| 化学名又は一般名 | 化審法番号 | CAS No. | 安衛法番号 |

| | | | |
|------------|-------|-----------|--------|
| 有機窒素系銅用防食剤 | 非開示 | 非開示 | 公表化学物質 |
| アルカリ剤 | | | |
| 過酸化水素 | 1-419 | 7722-84-1 | |
| 重合りん酸塩 | 非開示 | 非開示 | |
| アクリル酸系ポリマー | 非開示 | 非開示 | |

4.応急措置

◆情報◆

| | |
|---------------------|--|
| 吸入した場合 皮膚に付着した場合 | 空気の新鮮な場所に移し、安静・保温につとめ、速やかに医師の手当を受ける。 皮膚に付くと炎症を起こすことがある。 触れた部位を、多量の水で洗い流す。 汚染した衣服は直ちに脱ぎ、衣服と皮膚に付着した薬品を、多量の水で洗い流す。 炎症、痛みなどが残れば、医師の手当を受ける。 |
| 眼に入った場合 | 目に入ると、激しい痛みを伴い薬傷をおこす。視力の低下、乱視、失明のおそれがある。 直ちに、流水で15分以上洗眼し、その後必ず医師の手当を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | 直ぐに医師の治療を受けて下さい。もし飲み込んだ場合は、医師の指示があるまで無理に嘔吐させない。 |

5.火災時の措置

| | |
|-------------|--|
| 適切な消火剤 | 水 |
| 使ってはならない消火剤 | 情報なし |
| 特有の消火方法 | 可燃物ではないが、分解して酸素ガスを発生し、火災を激しくするので注意する。 周辺で火災が生じた場合は、火元から遠ざけるか、移動が困難な場合は水で冷却すること。 |

6.漏出時の措置

| | |
|-----------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 項目7および8を参考に、適切な保護具を着用すること。ただし、多量に漏出した場合は防じん機能を有する酸性ガス用吸収付の防毒マスクを着用すること。 |
| 環境に対する注意事項 | 海・河川等への排出による環境への放出を避けること。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 危険でなければ漏れを止める。少量の場合、ウエス・雑巾等でよく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。 |
| 漏出時の措置 | 大量に漏洩した場合も、元の容器に戻してはいけない。 土砂などで流れを止め、安全な場所に大量の水で希釈して洗い流す。 濃厚液が河川などに流れ込まないように注意する。 少量の漏洩の場合は多量の水で洗い流す。 木、布等可燃物と接触した場合は、大量の水で十分に洗い流す。 |

7.取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|---|
| 【取扱い】 | 吸い込んだり、眼・皮膚に触れないように、保護マスク・保護眼鏡・長袖の作業衣・ゴム手袋等を着用して作業すること。 酸、アルカリ、酸化剤、還元剤との混合を避けること。 使用済みの容器を飲料用、その他の用途に使用しないこと。 |
| 技術的対策 | 情報なし |
| 安全取扱注意事項 | 情報なし |
| 接触回避 | 情報なし |
| 【保管】 | 使用時以外は直射日光を避け、換気のある冷暗所に密閉保管する。 酸、アルカリ、酸化剤、還元剤、可燃物と離して保管すること。 |
| 安全な保管条件 | 情報なし |
| 安全な容器包装材料 | 情報なし |

8.ばく露防止及び保護措置

| | |
|--------------|---|
| 許容濃度 | 過酸化水素： 日本産業衛生学会（2005年）設定されていない ACGIH（2005年）TLV-TWA 1ppm |
| 管理濃度 | (注) TLV-TWA：1日8時間、1週間40時間の労働時間内の時間加重平均暴露許容濃度の勧告値 |
| 設備対策 | 設定されていない 管理・許容濃度以上の作業環境では局所排気装置を設置する。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | 保護マスク(防じんマスク) ※屋外又は換気の良い屋内での通常の取り扱い時は、飛沫としての吸引防止を目的とした防じんマスクを着用する。 |
| 手の保護具 | ポリ塩化ビニール製あるいは合成ゴム製の手袋着用 |
| 眼及び／又は顔面の保護具 | 保護眼鏡／又は保護面着用 |

皮膚及び身体の保護具

長袖の作業衣着用

9.物理的及び化学的性質

| | |
|----------------------|---|
| 物理状態 | 液体 |
| 色 | 無色～黄褐色 |
| 臭い | データなし |
| 融点／凝固点 | -5℃以下 |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | データなし |
| 可燃性 | データなし |
| 爆発下限界及び上限界／可燃限界 | 上限界: データなし 下限界: データなし |
| 引火点 | なし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | 6.2～8.2(20℃) |
| 動粘性率 | データなし |
| 粘度 | 20mPa·s以下(30℃) |
| 溶解度 | 水: 任意に溶解する |
| n-オクタノール／水分配係数(log値) | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度及び／又は相対密度(比重) | 比重: 1.00～1.04(20℃) |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |
| CODMn量 | 3.2% |
| 全窒素含有量(T-N)% | 0.075% |
| 全リン含有量(T-P)% | 0.016% |
| その他のデータ | 成分が極く微量変化し、外観が黄色～黄褐色に変色する場合がありますが、性能、安全性には影響がありません。 |

10.安定性及び反応性

| | |
|------------|------|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的安定性 | 情報なし |
| 危険有害反応可能性 | 情報なし |
| 避けるべき条件 | 情報なし |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

11.有害性情報

| | |
|------------------|--|
| 急性毒性 | データなし |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 皮膚に付くと炎症を起こすことがある。 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 眼に入ると、激しい痛みを伴い薬傷をおこす。視力の低下、乱視、失明のおそれがある。 |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 発がん性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | データなし |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | データなし |
| 誤えん有害性 | データなし |
| その他の有害性 | Ames試験: 有機窒素系銅用防食剤は、厚生労働省「職場のあんぜんサイト」データ(出典NTP D B(Access on Sep. 2010))に「陽性」の結果があるが、製品としての試験データはない。 |

12.環境影響情報

| | |
|-----------|-------|
| 生態毒性 | データなし |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生体蓄積性 | データなし |
| 土壌中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | データなし |

13.廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | 直接排水溝には絶対流さないこと。 産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。 |
| 汚染容器及び包装 | 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。 |

その他 洗淨廃液はクリバーター K-300にて完全分解後、活性汚泥処理または下水放流する。処理が困難な場合は、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。

14. 輸送上の注意

国連分類・国連番号 国連分類:分類の定義上危険有害物に該当しない。
 その他 容器が破損しないようにし、水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。

15. 適用法令

| | | |
|---------------------------|---|-----------------------|
| 消防法 | 該当なし | |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当なし | |
| 化学兵器禁止法 | 該当なし | |
| 輸出貿易管理令 | 該当なし | |
| 労働安全衛生法 過酸化水素 過酸化水素 | 該当あり 法 第57条の2 通知対象物 法 第57条 名称等を表示すべき有害物 | |
| 船舶安全法 | 該当なし | |
| 航空法 | 該当なし | |
| 港則法 | 該当なし | |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) | 該当なし | |
| 水質汚濁防止法 過酸化水素 | 該当あり 令 第三条の三 指定物質 | |
| 労働安全衛生法 | 該当あり | 令 別表第1第3号 危険物 (酸化性の物) |

16. その他の情報

記載内容は、本シート作成時に入手可能な資料、情報、データに基づいておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証を成すものではありません。

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

本シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。

以上

*記載内容問合せ先
 本社 03-6743-5000
 大阪支社 06-7638-1226
 東北支店 022-225-6331
 名古屋支店 052-203-2851
 広島支店 082-221-4471
 福岡営業所 092-472-0911